

会社訪問

『魅せる現場』創りのお手伝い 北陽



▲小田切社長とフレッシュあげお・篠田さん



▲1300坪の広い敷地内に、建設現場に欠かせない仮設資材がカテゴリー別に分類され整然と並ぶ姿は圧巻!



▶同社担当の建設現場の一例。工期中は近隣の皆様への配慮も重要なポイント!



▶水溶性塗料に関する産廃問題の解決策として脚光を浴びる水溶性塗料排水用過装置「エコシンク」



建設現場のCSRに貢献

北陽は、1987年4月に創業。1991年に本社を現在地(柏座)へ移転し、1999年には事業本部および機材センター(小敷谷)を拡充開設。工事・建設現場向け仮設資材のレンタル事業と環境整備代行業務を展開し、CSR(企業の社会的責任)推進に大きく貢献しています。事業本部および機材センターを訪ね、代表取締役社長・小田切(おたぎり)健治さんにお話をうかがいました。

篠田 レンタル事業では、どのようなアイテムを取り扱っていらっしゃるのですか?

小田切 建築基準法に則った確認事項を表記した「建築確認表示パネル」等の看板類、ガードフェンスなどの囲い系資材、地面を保護し足場をよくするプラシキなどの敷物系、仮設トイレやシンク、ヘルメットなどを収納する保安ボックスや喫煙グッズ(現場内禁煙にして喫煙所を限定設置)等々、工事現場や建設現場の環境・安全対策に欠かせない、さまざまなアイテムを取り扱っています。仮設水道工事も請け負いますし、地鎮祭や現場見学会等の企画・機材レンタル、さらには内容物の確認・分別に配慮した色分別ゴミ袋も製造・販売しています。

篠田 まさに、至れり尽くせり、ですね(笑)。

小田切 昔は環境・安全対策も“現場監督さん任せ”でしたが、建築基準法の改正とともにCSRへの意識も高まり、わが社の守備範囲も拡大しました。必要とされるもの、困っている問題はなにか——“現場の



▲事業本部および機材センターの事務所棟にて

声」に耳を傾け、「環境」と「安全」をテーマに、顧客様のCSRの担い手として徹頭徹尾取り組んでいきたいと思っています。

篠田 そうした中で開発・製造されたのが、水溶性塗料排水用過装置「エコシンク」(特許出願中・2011年登録商標取得)ですね。

小田切 建設・住宅工事の現場で使用される塗料の大半が、人や環境にやさしい水溶性塗料です。その一方で、新たに「水溶性塗料の洗い水」の排水処理問題が浮上しました。廃棄物処理法改正により、水溶性塗料の洗い水は「産業廃棄物」ですから、現場でそのまま排水するのは「不法投棄」となり、当事者の業者はもとより、元請の建設業者様にも責任が問われます。産業廃棄物収集運搬業の資格のない塗装業者さんが持ち帰ることも違法です。わが社では産廃回収の必要性を痛感し、一昨年に認可取得。法的基準に従って「エコシンク」でろ過したクリーンな水を排水し、残さ物は自社回収して中間処理工場でセメント材料に再生されます。道路工事の舗装版切断時に発生する濁水処理への活用も検討されており、レンタル事業の突破口として、首都圏での足場固めを図ります。今春、事業本部および機材センターの領家工業団地への移転計画が実施されるのを機に、戦略モードの転換と、独自性を生かした需要創出を目指していきます。

INFORMATION

- 経営革新計画承認企業 株式会社 北陽
本社/上尾市柏座4-4-19
事業本部および機材センター/上尾市小敷谷667-6(領家工業団地内へ移転準備中)
<http://www.e-hokuyo.co.jp>
- 聞き手/「上尾商工会議所青年部2011フレッシュあげお」篠田園子さん

